

全国「みどりの愛護のつどい」で 森づくりボランティア団体 受賞!

平成30年5月26日(土)に長浜で、皇太子ご夫妻が参加され、第29回全国「みどりの愛護」のつどいの式典がおこなわれました。

花と緑の愛護に顕著な功績があった、全国の133の団体に国土交通大臣から、県内の9の団体に対して滋賀県知事から、感謝状が贈られました。

びわこ地球市民の森の登録団体からは、「さんまる会」さんが「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を、「森楽」さん、「みのの会フォレスト」さん、「32期園芸」さん、「レイカ33会」さんが滋賀県都市緑化功労者知事表彰を、それぞれ受賞されました。

受賞された各登録団体の皆様のこれまでの森づくり(植樹・育樹)活動に感謝いたします。また、これからも健康に留意され、楽しみながら活動へのご協力をお願いします。



お知らせ

第2回森づくりサポーター活動のご案内

暑い時期ですが、みなさんのお越しをお待ちしています。

開催期日 平成30年7月28日(土)
開催場所 びわこ地球市民の森(里の森ゾーン)
活動内容 植栽地の育樹活動と自然教室など



森づくりセンター組織体制

平成30年度で、シダックス・ハウスビルグループが指定管理者となり、5年目の最終年度を迎えました。今年度は、下記の職員により、森の運営を行ってまいりますので、引き続きよろしくお願いします。

江見和緯(よしひろ)所長、三溝(さみぞ)勝彦副所長(事務担当)、橋本智副所長(技術担当)
平塚英史森づくり企画員、湯本悠樹森づくり業務員、吉川みどり森づくり事務員
田上知森づくり指導員、山本俊一森づくり調査員

編集後記

今年6月、つどいのゾーンに隣接するふるさとゾーンに四阿が2基完成し、それに通じる歩道が舗装されました。これにより、つどいのゾーンからふるさとゾーンへのアクセスが便利となりましたので、森の散策や休憩に大いに活用してください。

森のデータ

森の面積	42.5ha
森の延長	3.2km
森の幅	100～200m
植樹面積	80,808㎡
植樹期間	H13～H25
植樹活動参加者数	44,994人
植樹本数	160,967本
森への利用者数(H29)	176,136人
森づくり活動参加者数(H29)	7,550人
内サポーター活動参加者数(H29)	2,936人

びわこ地球市民の森(森づくりセンター)

〒524-0102 守山市水保町2727 TEL 077-585-6333 FAX 077-585-6312
メールアドレス biwako@moridukuri.info URL http://www.moridukuri.info

夏から初秋(7～9月)の森(1)

今年の近畿地方の梅雨入りは、例年より1日早く、6月6日でした。「栗花落」と書いて何と読むかご存じですか。栗の花が落ちると書いて「つゆり」と読みます。語源は栗の花が落ちる頃に梅雨入りすることからで、昔は梅雨入りではなく栗花落を使っていたという説もあるようです。

30年度が始まりました。今年のテーマは「四季の森の魅力」で、4回に分けて紹介します。初回は表題のとおり夏から初秋の森を紹介しましょう。

出会いのゾーンの円形広場の写真を載せました。ケヤキの列植は若葉をいっぱい着け、生き生きとしています。県内の平野部や河畔、湖岸、お寺や神社などにもたくさん生えているケヤキの大木のように、これからさらに大きく育ってほしいと思います。広場一面のシロツメクサの花の絨毯は実に見事です。5月27日の「びわこ地球市民の森のつどい」に出席していただいた三日月知事が感心されていたと人づてに聞きました。



出会いのゾーン、一面のシロツメクサの絨毯



クリの雄花、雌花と実が3つ

さて、公園に植えていただいたブナ科の植物は、昨年植えたイチイガシを加えて15種で、本数No1、2のクヌギ、コナラを始めほとんどは、4、5月に花を咲かせ受粉をして今年の秋か、来年の秋にドングリを実らせませす。1、2か月遅れの6月に大トリのクリが園内での出会いや里の森ゾーンで、そして近隣のクリ畑で派手に花を咲かせています。雌花には秋が楽しみの実が着いていました。

ふれあいゾーンのふれあい池は5月にポンプの修理を行い、地下水を汲み出せるようになりました。おかげで池は常に水が満ち、植生がどのように変わっていくか楽しみになりました。今は白や紫のハナショウブの花が満開で、ヘイケボタルを広めている大曲自治会の協力で、この池に速野幼稚園の幼児たちと幼虫を放流していただきました。

ふるさとゾーンの竹林には、6月、レイカディア大学サポート隊にタケの間伐に入っていただきました。ウバユリの群落はまだつぼみの状態で、大きな葉っぱを着けていました。名のとおり、葉が落ちてきれいな花を咲かせるのは、7月になってからでしょうか。



ふれあい池のハナショウブ



ホタルの幼虫を放流する園児達



咲くときは大きな葉が落ちるウバユリ

”びわこ地球市民の森のつどい2018”開催！

平成30年5月27日(日)、初夏のまばゆい太陽が照りつける中、「育もう みどりの未来 つないでいこ う みどりのボタン」をテーマに、恒例となりました森の最大のイベント「びわこ地球市民の森のつどい2018」が、緑鮮やかな里の森ゾーンの芝生広場の会場を中心に開催されました。

開会式では、葭本実行委員長の開会宣言のあと、主催者として三日月滋賀県知事、宮本守山市長、来賓者として国会議員、滋賀県議会議員、守山市議会議員を代表して武村衆議院議員、二之湯参議院議員の挨拶がありました。

さらに、江見森づくりセンター所長より森の紹介とつどいのプログラムについて説明があったあと、守山市みどりの少年団、ガールスカウト滋賀県第15団、ボーイスカウト守山第1団の皆さんによる「森づくり宣言」が元気よくなされ、つどいのメインイベントであります「自然とふれあいウォーク」がスタートしました。



開会宣言



森づくり宣言



開会式の様子

今回の「自然とふれあいウォーク」は南コースと北コースの2コースに分かれ、あらかじめコースを選んだ約800人の参加者が途中森の生きものなどを発見しビンゴゲームを完成させるなど、自然観察を楽しみながら五月晴れの初夏の森を散策しました。



サポーター旗を先頭にスタート



南コースを散策



北コースを散策



新緑の中のウォークは最高！



ふれあい池を散策



途中で自然観察！

また、もう一つのメインであります「体験のブース」、「食のブース」、「お楽しみのブース」では、団体、企業、共同作業所など38団体が出店し、多くの来場者で終日賑わいました。とりわけ「体験のブース」では、これまで最高の19団体が間伐材や竹などを利用したクラフトなどをアイデア一杯に工夫して披露され、訪れた参加者は素晴らしい体験に夢中になっていました。



竹トンボづくり



丸太切り体験



間伐体験



木の実を使ってキーホルダー



間伐材で円盤クラフト



竹の水鉄砲的当てゲーム

「食のブース」では、味自慢のお店が沢山出店し長蛇の列ができるほど人気があり、「お楽しみブース」では、ひなぎくこども園、速野カナリアこども園の演技、明富中学校の吹奏楽演奏、桐生オカリナーズのオカリナ演奏、ザ・キープウォーターのバンド演奏などのアトラクションで、つどいに一層花を咲かせました。



園児たちの可愛い演技



迫力満点の吹奏楽演奏



オカリナ演奏



バンド演奏

また、つどいに併せて行われました今年度第1回目の森づくりサポーター活動では、141名のサポーターの皆さんが参加され、自然とふれあいウォークや体験のブースでの活動などでつどいをさらに盛り上げました。

当日は天候にも恵まれて約4,000人の来場者が訪れ成功裏に終えることができました。ご協賛、ご協力いただきました企業、団体、地域、関係機関、関係者の皆様にお礼申し上げますとともに、今後ともより一層森づくりの推進にご理解とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。



多くの来場者で賑わう里の森ゾーンの会場